

予断と偏見



予断

(あらかじめ判断すること)

だれが判断するのか？

自分

では、「判断基準」は？

- 実際に自分が確認しているから。
- 昔からそうになっているから。
- みんながそうしているから。

そもそも正しい判断なのか？

「なぜ」「どうして」
を考えたのか？

判断基準の違い＝「知らない」ということ

偏見

(非好意的な先入観や判断による偏った見方)

予断とは「あらかじめ判断すること」。見通しが利かない交差点を、慎重に通行する……このような場合、予断は有効です。もちろん、判断するのは「自分」です。では、何をもって判断すればいいのでしょうか。

交差点の例では、交通事故の状況や、自分の経験、知識をもとに判断すること（判断基準といえます）になるでしょう。もちろん、その判断基準が正しいかどうか、しっかりと考えることが必要になります。

しかし、なかには、

差別を学習する上で欠かせないキーワード、それは「予断」と「偏見」です。今回は、予断と偏見がどのように自分とかわってくるのか、考えてみましょう。

第16回平和祈念資料展

延岡に初めて爆弾が投下されたのは、1945年3月4日、太平洋戦争末期のことでした。これ以降、6月29日未明の空襲など、14回の空襲があったとされています。

今年も、市立図書館では、15日(土)から「平和祈念資料展」を開催しています。テーマは「戦時下の生活の中で～庶民のつづき」。思想・言論を取り締まった特別高等警察の記録や、人々の日記などをもとに、あの戦争を見つめ直しています。期間は7月7日(日)までです。

なお、岡富中では、平和学習を27日(木)6時間目に行います。



16日(日)には資料説明会が行われました。

岡富中ホームページでバックナンバーを公開中！

偏見とは「十分な根拠なしに

「昔からそうになっているから。」
「みんながそうしているから。」

といったことを判断基準にしたことはありますか。それらは、自分で真実を確かめたわけでもありません。間違っている場合もあります。ですから、知らないことを判断基準にすることはできません。「知らない」とはそういうことです。それが積み重なっていくと、偏見になります。

いく人ですか？

もたれる偏った判断や意見です。そして、偏見をもとに「差別」がつけられていくのです。もし、あなたが、あやふやな判断基準に出会った場合、「なぜ・どうしてそうなのか」という疑問をもつことが大切です。そして、その判断基準に頼らないでください。知らないことを判断基準にした場合の責任は、あなたです。「人が」は通用しません。



2019年度第3号

【ご家庭から】 ご感想をお待ちしております。学級担任にお渡しください。

年 組／お名前

(ペンネームでも O.K. ですよ！)

◆書いていただいた内容をこの通信で紹介してもよろしいですか？ (○ ・ ×)